

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三-15
TEL 027-2555-3434
FAX 027-2555-3435
http://www.neues-asahi.jp

秋も深まってきました。東北、北海道では雪の季節になりテレビの映像は、すっかり真冬です。

秋の到来とともに親しくしていた友人が旅立ちました。

ほんの数日前に電話で何とか元気で過ごしているという張りのある声を聞き、病と向き合う姿も実に立派でした。そうは言っても何か話がしたくなったらいつでも電話してね・・・と心配をかけて電話に「ありがとうね」という彼女の言葉が最後になりました。淋しさを抱えながらも力強く素敵に人生を過ごしているといった様子に、人として、女性として、先輩として水先案内人のような人でした。

心からご冥福をお祈りし、感謝の気持ちを込めて空を見上げました。

先日、久しぶりに県立土屋文明記念文学館で開催されている「萩原恭次郎生誕120年記念展」の記念講演会で、詩人の佐々木幹郎氏が「萩原恭次郎と大正という踊り場」というテーマで講演をされると聞いて出かけた。

萩原恭次郎は、詩集「死刑宣告」や詩篇「もうろくずきん」で知られる大正、昭和にかけての詩人。「死刑宣告」は、既存の詩を一変させるほどの特異な言語感覚と視覚的なアバンギャルドな表現方法で当時の詩壇や社会に衝撃的だった詩集です。展示されている「死刑宣告」を目にしても新しさと表現者としての情熱、激しさが伝わってきます。

数ヶ月前、夜中にテレビで石川淳原作「紫苑物語」を新国立劇場で新作オペラとして上演、それを放映していたので見ました。その台本を手がけたのが佐々木幹郎氏でしたので、さらに大正時代という私の知らない時代背景や空気をどのように話してくださるのかも楽しみでした。五枚のレジュメも用意され非常に内容のある貴重な時間でした。大正期に文化の概念が変わり、そして新しい言葉が生まれたこと。

今のように情報が溢れていない時代に、一冊の詩集が多くの人々に多大な影響を与え、表現者がどのように社会に対して向き合っているか、詩人や小説家の個性溢れる交友関係で育まれ、生まれてきた「情熱」が伝わってきました。知らない大正時代を感じるとともに多くの悲惨な戦争はあったものの、戦後の昭和は激動とは言われますが平成、令和となってみると「昭和」という時代も、色ある時代だったと思えます。戦後の昭和を生きたことを幸せにも感じます。

一人の詩人から多くのものを吸収出来たことに感謝しつつ、これからも人との出会いを楽しみに一歩踏み出していきたいと思えます。(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

うつわ彩々

高橋芳宣展 〈企画〉

会期 十二月一日(日)まで
午前十時～午後五時(最終日、午後三時終了)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2



器を楽しむ
季節の食材を簡素に味つけし風味を味わう
器を手にした感触と描かれた筆づかいをそして
食卓に向かう時間を楽しむ
高橋芳宣氏の器にはそんな魅力があります

作家在廊

十一月二十九日(金)、三十日(土)、十二月一日(日)

*最終日は、午後三時で終了です。

難波多輝子展 〈企画〉

かけらをかさねる

— 絵画 木版画 小さな立体 —

会期 十二月四日(水)～十一日(水)
午前十時～午後五時
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

難波多輝子さんのノイエス朝日で初めての個展です。透明感のある色調が静かな音楽を聴いているような温かみある作品です。繊細で優しい小さな作品の中にも難波多輝子さんの女性らしい強さと緊張感のある作品をお楽しみください。

萩原敏孝展 〈企画〉

会期 十二月十四日(土)～二十二日(日)
午前十時～午後五時
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

以前、萩原敏孝氏のアトリエを訪問したことがあります。積み上げられた紙の一枚一枚には、感情のおもむくままに描かれたような線がひかれ、暖色系の色面でその線を囲むようにフォルムが形成されていました。顔を手で覆う女性。後ろ向きで永遠を見つめるような人物。今回の展示は、夢と現(ゆめとうつ)の大作をはじめ人間の生と死、数々の揺れ動く感情の中から生まれきた萩原氏のここ数年間の集大成です。是非、ご覧下さい。

展覧会の多いこの季節。

県立館林美術館の「ピカソ展」に行き、高崎市立美術館に、高島屋に、そして中之沢美術館に行つて友人、知人の作品を見つけてきました。

久しぶりの中之沢美術館は、広々とした空間の中央に林耕史氏の「月が眠る山2019」が展示され、他の作家の作品も周囲の風景と同化して大きな自然界を感じさせてくれた。「森の中の美術展」という環境に、心が充たされ充実した時間を過ごさせていただきました。赤城山南面道路も黄色や赤そして褐色と冬に入る前の自然界からの贈物のような美しさが癒されました。

今回の十二月の「ノイエスだより」が今年最後の号になります。令和になって、NHKのチョコちゃんに「ボーっと生きてんじゃねーよ」と叱られないように、来年も気を引きしめて皆様に楽しんでいただけるような展覧会を実施していきたいと思っています。

ノイエス朝日は、展覧会会期中以外は、休廊しています。十二月は、二十二日(日)で展覧会は終了です。

ノイエス朝日 新春特別企画 予告第2弾!!!

第2回 かがやく石川のKOGEI <企画>

会期 1月11日(土)～19日(日) 10:00a.m.～5:00p.m.
最終日は3:00p.m.まで
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

※作品写真の下は作家在日(予定)です。変更もあります。

2018年1月に新春特別企画として第1回の「かがやく石川のKOGEI」を開催しました。

北陸新幹線の開通に伴い石川と群馬の距離も縮まり、伝統ある日本工芸会石川支部の作家6名による4部門(陶芸・染色・漆芸・木竹工芸)の作品を再度ご覧いただく機会を得ました。

高度な技術と個性溢れる作品をごゆっくりご覧ください。

ノイエス朝日



坂本康則(漆芸) 石川県輪島市
1月11日(午前)・18日(午後) 19日在廊予定



川北浩彦(木竹工芸) 石川県加賀市
1月11日在廊予定



荒川文彦(漆芸) 石川県加賀市
1月11日(午前) 在廊予定



吉田幸央(陶芸) 石川県小松市
1月11日在廊予定



多田幸史(陶芸) 石川県野々市
1月11日在廊予定



四ツ井健(染色) 石川県野々市
1月11日(午前)・18日・19日在廊予定

DiPS.A news

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町67 <http://www.asahi-p.co.jp>

Vol.74



ポチ袋好評販売中!

今年は紙の種類と色を増やしてご用意しております!



3枚セット
250円



ディップス朝日営業カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	黒字
1月 24	25	26	27	28	29	30	通常営業日 9:00-19:00
1月 1	2	3	4	5	6	7	青字
8	9	10	11	12	13	14	土曜営業日 9:00-17:00
15	16	17	18	19	20	21	赤字 休店日
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	1月 1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	

掲載内容についてのお問い合わせ
お申し込みはこちらまで...

DiPS.A ディップス朝日

月曜～金曜 午前9時～午後7時
土曜 午前9時～午後5時(日曜・祝日休業)
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1
TEL.027-254-1212 FAX.027-254-1227
<http://www.dips-a.jp>

